

# I 概 況

平成28年10～12月期の出荷数量は、13,913.2千㎡、前年同期比▲4.8%の減少となった。

## 1. 需要先別の動向

土木向けは5,152.3千㎡、前年同期比▲5.4%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは370.1千㎡、同17.9%、道路向けは1,478.2千㎡、同1.6%の増加、港湾・空港向けは566.0千㎡、同▲13.6%、その他向けは2,738.0千㎡、同▲9.4%の減少となった。建築向けは8,760.9千㎡、同▲4.4%の減少となった。このうち官公需向けは1,323.7千㎡、同▲17.4%、住宅向けは3,975.4千㎡、同▲0.5%、非住宅向けは3,461.8千㎡、同▲3.0%といずれも減少となった。

## 2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は777.8千㎡、前年同期比3.9%の増加。このうち土木向けは271.1千㎡、同0.0%と変わらず、建築向けは506.7千㎡、同6.1%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同15.9%)、道路向け(同8.1%)、官公需向け(同18.8%)、住宅向け(同4.9%)、非住宅向け(同2.3%)が増加。港湾・空港向け(同▲16.5%)、その他向け(同▲2.0%)が減少。

東北は1,873.5千㎡、同▲6.7%の減少。このうち土木向けは1,022.5千㎡、同▲4.2%、建築向けは851.1千㎡、同▲9.5%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同114.7%)、道路向け(同4.8%)、非住宅向け(同1.5%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲20.3%)、その他向け(同▲8.6%)、官公需向け(同▲25.1%)、住宅向け(同▲3.6%)が減少。

関東は4,618.0千㎡、同▲7.3%の減少。このうち土木向けは1,261.1千㎡、同▲11.5%、建築向けは3,356.9千㎡、同▲5.6%といずれも減少。

内訳は、道路向け(同6.2%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲16.8%)、港湾・空港向け(同▲10.4%)、その他向け(同▲19.2%)、官公需向け(同▲10.9%)、住宅向け(同▲4.7%)、非住宅向け(同▲5.1%)が減少。

中部は1,453.0千㎡、同▲7.4%の減少。このうち土木向けは555.0千㎡、同▲0.5%、建築向けは898.1千㎡、同▲11.2%といずれも減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同21.5%)、港湾・空港向け(同31.3%)、その他向け(同1.2%)が増加するものの、道路向け(同▲11.2%)、官公需向け(同▲14.5%)、住宅向け(同▲7.2%)、非住宅向け(同▲13.3%)が減少。

近畿は1,463.2千㎡、同▲0.8%の減少。このうち土木向けは562.6千㎡、同▲4.3%の減少、建築向けは900.6千㎡、同1.5%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同99.7%)、道路向け(同1.8%)、住宅向け(同19.2%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲28.4%)、その他向け(同▲17.1%)、官公需向け(同▲25.2%)、非住宅向け(同▲2.5%)が減少。

中国は939.8千㎡、同▲6.0%の減少。このうち土木向けは389.6千㎡、同▲5.8%、建築向けは550.2千㎡、同▲6.1%といずれも減少。

内訳は、道路向け(同11.0%)、非住宅向け(同5.5%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲21.8%)、港湾・空港向け(同▲2.5%)、その他向け(同▲11.6%)、官公需向け(同▲31.4%)、住宅向け(同▲3.2%)が減少。

四国は728.0千㎡、同▲2.8%の減少。このうち土木向けは391.6千㎡、同▲3.1%、建築向けは336.3千㎡、同▲2.6%といずれも減少。

内訳は、道路向け(同7.9%)、住宅向け(同2.8%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲21.5%)、港湾・空港向け(同▲20.6%)、その他向け(同▲3.4%)、官公需向け(同▲9.3%)、非住宅向け(同▲4.4%)が減少。

九州は1,685.0千㎡、同0.2%の増加。このうち土木向けは626.2千㎡、同▲2.9%の減少、建築向けは1,058.8千㎡、同2.1%の増加。

内訳は、港湾・空港向け(同10.9%)、その他向け(同2.4%)、住宅向け(同6.9%)、非住宅向け(同8.2%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲10.7%)、道路向け(同▲18.2%)、官公需向け(同▲24.1%)が減少。

沖縄は374.8千㎡、同▲5.9%の減少。このうち土木向けは72.6千㎡、同▲1.6%、建築向けは302.2千㎡、同▲6.9%といずれも減少。

内訳は、道路向け(同25.4%)が増加するものの、鉄道・電力向け(同▲70.6%)、港湾・空港向け(同▲26.4%)、その他向け(同▲3.1%)、官公需向け(同▲17.1%)、住宅向け(同▲4.2%)、非住宅向け(同▲3.1%)が減少。

## 3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、10月が4,578.2千㎡、前年同月比▲11.5%の減少、11月が4,701.8千㎡、同1.0%の増加、12月が4,633.1千㎡、同▲3.2%の減少。

このうち土木向けは、10月が1,656.7千㎡、同▲12.8%、11月が1,755.5千㎡、同▲0.4%、12月は1,740.0千㎡、同▲2.4%といずれも減少。建築向けは、10月が2,921.5千㎡、同▲10.8%の減少、11月が2,946.3千㎡、同1.9%の増加、12月は2,893.1千㎡、同▲3.6%の減少。

## 4. 設備能力及び従業員数

12月末の全国のプラントの基数は1,725基で、前期末(28年9月末)より1基の増加、前年同期末(27年12月末)より21基減少した。月間生産能力は46,014千㎡、前年同期比▲1.0%の減少となった。

12月末の従業員数は、21,478人、前年同期末より219人(▲1.0%)の減少となった。